中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版A

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 漢字の右下につけて助詞や活用語尾を補うかなを（　　）という

(2) 八つの句からなる漢詩を（　　）という

(3) 絶句の4つの句の展開を（　　）という

(4) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という

(5) 読む順序を示す符号を（　　）という

(6) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という

(7) 訓読のときに読まない字を（　　）という

(8) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という

(9) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という

(10) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という

(11) むだな心配をすることを（　　）という

(12) あとがない覚悟でことにあたることを（　　）という

(13) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という

(14) 「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている

(15) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(16) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という

(17) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という

(18) つじつまが合わないことを（　　）という

(19) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という

(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版B

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 漢字の右下につけて助詞や活用語尾を補うかなを（　　）という

(2) 中国で作られた詩を（　　）という

(3) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という

(4) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という

(5) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という

(6) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という

(7) 絶句の4つの句の展開を（　　）という

(8) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という

(10) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という

(11) むだな心配をすることを（　　）という

(12) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という

(13) 「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている

(14) 欠点がなく完全なことを（　　）という

(15) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という

(16) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という

(17) 「矛盾」の話は（　　）に書かれている

(18) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(19) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という

(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版C

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という

(2) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という

(3) 絶句の4つの句の展開を（　　）という

(4) 読む順序を示す符号を（　　）という

(5) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という

(6) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という

(7) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という

(8) 漢字の右下につけて助詞や活用語尾を補うかなを（　　）という

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という

(10) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という

(11) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という

(12) 欠点がなく完全なことを（　　）という

(13) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という

(14) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という

(15) 「矛盾」の話は（　　）に書かれている

(16) 「杞憂」の話は（　　）に書かれている

(17) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(18) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という

(19) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という

(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版D

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という

(2) 返り点や送り仮名などをまとめて（　　）という

(3) 中国で作られた詩を（　　）という

(4) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という

(5) 絶句の4つの句の展開を（　　）という

(6) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という

(7) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という

(8) 訓読のときに読まない字を（　　）という

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という

(10) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という

(11) 「蛇足」の話は（　　）に書かれている

(12) 「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている

(13) 欠点がなく完全なことを（　　）という

(14) むだな心配をすることを（　　）という

(15) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(16) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という

(17) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という

(18) 「矛盾」の話は（　　）に書かれている

(19) 「子曰く」の「子」は（　　）のことである

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版E

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 八つの句からなる漢詩を（　　）という

(2) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という

(3) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という

(4) 返り点や送り仮名などをまとめて（　　）という

(5) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という

(6) 絶句の4つの句の展開を（　　）という

(7) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という

(8) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という

(9) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という

(10) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という

(11) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(12) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という

(13) 「杞憂」の話は（　　）に書かれている

(14) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という

(15) 周りがみな敵で孤立している状態を（　　）という

(16) つじつまが合わないことを（　　）という

(17) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という

(18) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という

(19) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という

(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版F

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 返り点や送り仮名などをまとめて（　　）という

(2) 八つの句からなる漢詩を（　　）という

(3) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という

(4) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という

(5) 絶句の4つの句の展開を（　　）という

(6) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という

(7) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という

(8) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という

(10) 二字以上を隔てて返って読む点を（　　）という

(11) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(12) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という

(13) あとがない覚悟でことにあたることを（　　）という

(14) むだな心配をすることを（　　）という

(15) 「矛盾」の話は（　　）に書かれている

(16) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という

(17) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という

(18) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という

(19) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版G

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という

(2) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という

(3) 絶句の4つの句の展開を（　　）という

(4) 読む順序を示す符号を（　　）という

(5) 中国で作られた詩を（　　）という

(6) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という

(7) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という

(8) 二字以上を隔てて返って読む点を（　　）という

(9) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という

(10) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(11) 「背水の陣」の話は（　　）に書かれている

(12) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という

(13) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という

(14) つじつまが合わないことを（　　）という

(15) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という

(16) 「杞憂」の話は（　　）に書かれている

(17) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という

(18) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という

(19) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という

(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版H

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 読む順序を示す符号を（　　）という

(2) 絶句の4つの句の展開を（　　）という

(3) 中国で作られた詩を（　　）という

(4) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という

(5) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という

(6) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という

(7) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という

(8) 二字以上を隔てて返って読む点を（　　）という

(9) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という

(10) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という

(11) あってもむだなよけいなものを（　　）という

(12) むだな心配をすることを（　　）という

(13) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(14) 「背水の陣」の話は（　　）に書かれている

(15) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という

(16) つじつまが合わないことを（　　）という

(17) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という

(18) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という

(19) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版I

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という

(2) 中国で作られた詩を（　　）という

(3) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という

(4) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という

(5) 絶句の4つの句の展開を（　　）という

(6) 返り点や送り仮名などをまとめて（　　）という

(7) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という

(8) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という

(10) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という

(11) 欠点がなく完全なことを（　　）という

(12) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という

(13) 「杞憂」の話は（　　）に書かれている

(14) 「矛盾」の話は（　　）に書かれている

(15) あってもむだなよけいなものを（　　）という

(16) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という

(17) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という

(18) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(19) 「子曰く」の「子」は（　　）のことである

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版J

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という

(2) 八つの句からなる漢詩を（　　）という

(3) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という

(4) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という

(5) 四つの句からなる漢詩を（　　）という

(6) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という

(7) 読む順序を示す符号を（　　）という

(8) 二字以上を隔てて返って読む点を（　　）という

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という

(10) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という

(11) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(12) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という

(13) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という

(14) 「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている

(15) 周りがみな敵で孤立している状態を（　　）という

(16) むだな心配をすることを（　　）という

(17) つじつまが合わないことを（　　）という

(18) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という

(19) 「子曰く」の「子」は（　　）のことである

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Aの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 漢字の右下につけて助詞や活用語尾を補うかなを（　　）という　　送り仮名

(2) 八つの句からなる漢詩を（　　）という　　律詩

(3) 絶句の4つの句の展開を（　　）という　　起承転結

(4) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という　　押韻

(5) 読む順序を示す符号を（　　）という　　返り点

(6) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という　　対句

(7) 訓読のときに読まない字を（　　）という　　置き字

(8) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という　　上下点

(9) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という　　レ点

(10) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という　　再読文字

(11) むだな心配をすることを（　　）という　　杞憂

(12) あとがない覚悟でことにあたることを（　　）という　　背水の陣

(13) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という　　漁夫の利

(14) 「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている　　孟子

(15) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という　　呉越同舟

(16) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という　　助長

(17) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という　　他山の石

(18) つじつまが合わないことを（　　）という　　矛盾

(19) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という　　論語

(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という　　儒教

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Bの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 漢字の右下につけて助詞や活用語尾を補うかなを（　　）という　　送り仮名

(2) 中国で作られた詩を（　　）という　　漢詩

(3) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という　　書き下し文

(4) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という　　白文

(5) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という　　訓読

(6) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という　　押韻

(7) 絶句の4つの句の展開を（　　）という　　起承転結

(8) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という　　上下点

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という　　再読文字

(10) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という　　レ点

(11) むだな心配をすることを（　　）という　　杞憂

(12) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という　　助長

(13) 「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている　　孟子

(14) 欠点がなく完全なことを（　　）という　　完璧

(15) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という　　漁夫の利

(16) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という　　他山の石

(17) 「矛盾」の話は（　　）に書かれている　　韓非子

(18) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という　　呉越同舟

(19) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という　　温故知新

(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という　　儒教

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Cの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という	白文
(2) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という	訓読
(3) 絶句の4つの句の展開を（　　）という	起承転結
(4) 読む順序を示す符号を（　　）という	返り点
(5) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という	書き下し文
(6) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という	対句
(7) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という	押韻
(8) 漢字の右下につけて助詞や活用語尾を補うかなを（　　）という	送り仮名
(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という	再読文字
(10) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という	上下点
(11) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という	レ点
(12) 欠点がなく完全なことを（　　）という	完璧
(13) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という	漁夫の利
(14) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という	五十歩百歩
(15) 「矛盾」の話は（　　）に書かれている	韓非子
(16) 「杞憂」の話は（　　）に書かれている	列子
(17) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という	呉越同舟
(18) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という	助長
(19) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という	論語
(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という	儒教

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Dの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という　　押韻

(2) 返り点や送り仮名などをまとめて（　　）という　　訓点

(3) 中国で作られた詩を（　　）という　　漢詩

(4) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という　　書き下し文

(5) 絶句の4つの句の展開を（　　）という　　起承転結

(6) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という　　白文

(7) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という　　上下点

(8) 訓読のときに読まない字を（　　）という　　置き字

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という　　再読文字

(10) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という　　レ点

(11) 「蛇足」の話は（　　）に書かれている　　戦国策

(12) 「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている　　孟子

(13) 欠点がなく完全なことを（　　）という　　完璧

(14) むだな心配をすることを（　　）という　　杞憂

(15) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という　　呉越同舟

(16) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という　　他山の石

(17) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という　　助長

(18) 「矛盾」の話は（　　）に書かれている　　韓非子

(19) 「子曰く」の「子」は（　　）のことである　　孔子

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という　　温故知新

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Eの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 八つの句からなる漢詩を（　　）という　　律詩

(2) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という　　書き下し文

(3) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という　　対句

(4) 返り点や送り仮名などをまとめて（　　）という　　訓点

(5) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という　　訓読

(6) 絶句の4つの句の展開を（　　）という　　起承転結

(7) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という　　押韻

(8) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という　　白文

(9) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という　　上下点

(10) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という　　レ点

(11) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という　　呉越同舟

(12) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という　　漁夫の利

(13) 「杞憂」の話は（　　）に書かれている　　列子

(14) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という　　五十歩百歩

(15) 周りがみな敵で孤立している状態を（　　）という　　四面楚歌

(16) つじつまが合わないことを（　　）という　　矛盾

(17) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という　　助長

(18) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という　　論語

(19) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という　　温故知新

(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という　　儒教

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Fの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 返り点や送り仮名などをまとめて（　　）という　　訓点

(2) 八つの句からなる漢詩を（　　）という　　律詩

(3) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という　　訓読

(4) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という　　白文

(5) 絶句の4つの句の展開を（　　）という　　起承転結

(6) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という　　対句

(7) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という　　押韻

(8) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という　　レ点

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という　　再読文字

(10) 二字以上を隔てて返って読む点を（　　）という　　一二点

(11) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という　　呉越同舟

(12) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という　　他山の石

(13) あとがない覚悟でことにあたることを（　　）という　　背水の陣

(14) むだな心配をすることを（　　）という　　杞憂

(15) 「矛盾」の話は（　　）に書かれている　　韓非子

(16) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という　　漁夫の利

(17) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という　　五十歩百歩

(18) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という　　論語

(19) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という　　儒教

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という　　温故知新

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Gの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という　　対句

(2) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という　　訓読

(3) 絶句の4つの句の展開を（　　）という　　起承転結

(4) 読む順序を示す符号を（　　）という　　返り点

(5) 中国で作られた詩を（　　）という　　漢詩

(6) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という　　押韻

(7) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という　　白文

(8) 二字以上を隔てて返って読む点を（　　）という　　一二点

(9) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という　　レ点

(10) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という　　呉越同舟

(11) 「背水の陣」の話は（　　）に書かれている　　史記

(12) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という　　漁夫の利

(13) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という　　助長

(14) つじつまが合わないことを（　　）という　　矛盾

(15) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という　　五十歩百歩

(16) 「杞憂」の話は（　　）に書かれている　　列子

(17) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という　　他山の石

(18) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という　　温故知新

(19) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という　　論語

(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という　　儒教

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Hの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 読む順序を示す符号を（　　）という　　返り点

(2) 絶句の4つの句の展開を（　　）という　　起承転結

(3) 中国で作られた詩を（　　）という　　漢詩

(4) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という　　書き下し文

(5) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という　　対句

(6) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という　　訓読

(7) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という　　白文

(8) 二字以上を隔てて返って読む点を（　　）という　　一二点

(9) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という　　レ点

(10) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という　　再読文字

(11) あってもむだなよけいなものを（　　）という　　蛇足

(12) むだな心配をすることを（　　）という　　杞憂

(13) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という　　呉越同舟

(14) 「背水の陣」の話は（　　）に書かれている　　史記

(15) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という　　他山の石

(16) つじつまが合わないことを（　　）という　　矛盾

(17) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という　　五十歩百歩

(18) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という　　儒教

(19) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という　　論語

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という　　温故知新

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Iの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という　　対句

(2) 中国で作られた詩を（　　）という　　漢詩

(3) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という　　書き下し文

(4) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という　　訓読

(5) 絶句の4つの句の展開を（　　）という　　起承転結

(6) 返り点や送り仮名などをまとめて（　　）という　　訓点

(7) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という　　白文

(8) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という　　押韻

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という　　再読文字

(10) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という　　上下点

(11) 欠点がなく完全なことを（　　）という　　完璧

(12) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という　　助長

(13) 「杞憂」の話は（　　）に書かれている　　列子

(14) 「矛盾」の話は（　　）に書かれている　　韓非子

(15) あってもむだなよけいなものを（　　）という　　蛇足

(16) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という　　他山の石

(17) 少しの違いはあっても大差がないことを（　　）という　　五十歩百歩

(18) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という　　呉越同舟

(19) 「子曰く」の「子」は（　　）のことである　　孔子

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という　　温故知新

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Jの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 漢文を日本語の語順に直して読むことを（　　）という　訓読

(2) 八つの句からなる漢詩を（　　）という　律詩

(3) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という　白文

(4) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という　押韻

(5) 四つの句からなる漢詩を（　　）という　絶句

(6) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という　書き下し文

(7) 読む順序を示す符号を（　　）という　返り点

(8) 二字以上を隔てて返って読む点を（　　）という　一二点

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という　再読文字

(10) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という　レ点

(11) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という　呉越同舟

(12) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という　他山の石

(13) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という　漁夫の利

(14) 「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている　孟子

(15) 周りがみな敵で孤立している状態を（　　）という　四面楚歌

(16) むだな心配をすることを（　　）という　杞憂

(17) つじつまが合わないことを（　　）という　矛盾

(18) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という　助長

(19) 「子曰く」の「子」は（　　）のことである　孔子

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という　温故知新